

関宿ガイドマップ

～永遠の平和～

鈴木貫太郎さんは、慶応3年（1868年）12月24日関宿藩の飛び地であった大阪で生まれ、5歳の時、家族で関宿に帰ってきました。小さい頃は体が大きかったけれど、泣き虫で「泣きっ貫」と呼ばれていました。そんな貫太郎さんに対してお父さんは「腹を立てずに何事にも頑張りなさい。」と言いました。貫太郎さんはこの言葉をずっと大切にしてきました。そしてその言葉は今、関宿小学校の校歌として歌い継がれています。

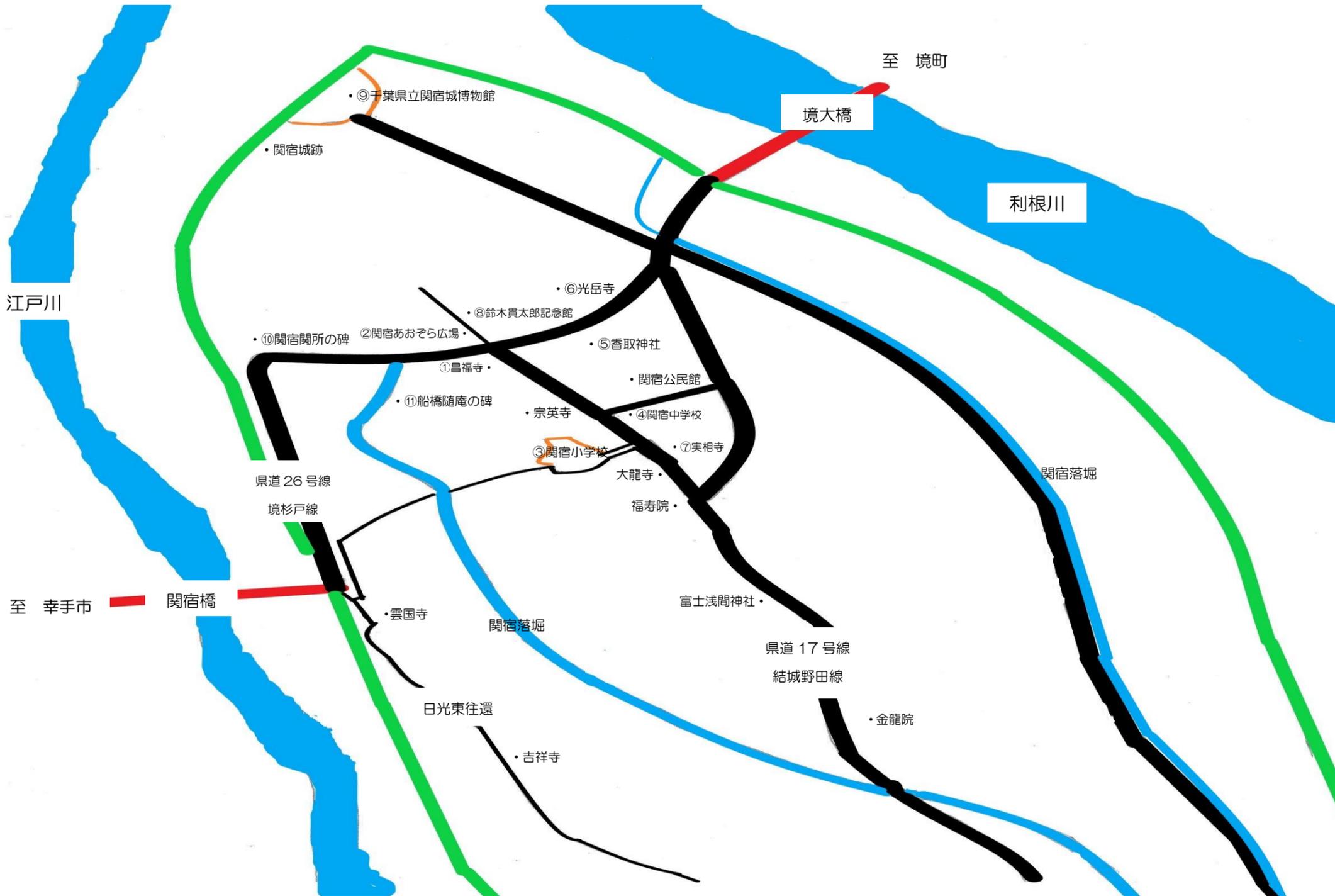
大人になった貫太郎さんは、海軍大将として活躍したり、昭和天皇のそばに仕える侍従長を務めたりしました。この侍従長として務めているときに「二・二六事件」に遭い、九死に一生を得ました。

そして昭和20年（1945年）の4月、貫太郎さんは内閣総理大臣になりました。太平洋戦争を終わらせるために尽力しました。その年の8月15日終戦を迎えました。

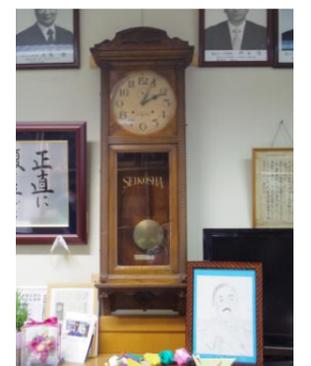
戦後、新しい日本の出発のために、日本国憲法を作る大仕事に関わり、平和を願う憲法が出来上がりました。

全ての役割を終えた貫太郎さんは関宿に帰ってきました。貫太郎さんは近所を散歩するのが好きで、戦争中とは違う表情だったそうです。また奥さんのタカさんといっしょに楽しい時間を過ごしました。

昭和23年（1948年）4月17日、81歳でこの世を去りました。貫太郎さんは「永遠の平和」という言葉を最期に目を閉じました。



鈴木貫太郎翁
黒澤様所蔵



貫太郎翁から送られた時計
関宿小学校所蔵

- ①昌福寺
- ②関宿あおぞら広場
- ③関宿小学校
- ④関宿中学校



関宿小学校は昔別の場所にありました。初めは昌福寺の中にもありました。次に今の関宿あおぞら広場に移りました。そして平成11年に今の場所に移りました。関宿小のいいところは、みんな仲がいいところです。令和5年には150周年を迎えます。

- ⑤香取神社
- ⑥光岳寺延命地藏尊
- ⑦実相寺



関宿には、神社やお寺がたくさんあります。五穀豊穡、川の安全を祈願して香取神社が建てられました。また、初代関宿城主、松平康元とつながりのある光岳寺、鈴木貫太郎さんのお墓がある実相寺など、歴史と深い関わりのあるお寺があり地元の人から大切にされています。

- ⑧鈴木貫太郎記念館
- ⑨千葉県立関宿城博物館



関宿には鈴木貫太郎記念館と関宿城博物館があります。関宿城博物館では関宿城の歴史を紹介しています。鈴木貫太郎記念館は貫太郎さんが使っていた物や歴史について紹介しています。

- ⑩関宿関所の碑
- ⑪船橋随庵の碑



関所があった頃のことわかる「関宿関所跡」や、関宿の稲作を普及させるための水路「関宿落堀」を整備することに尽力した「船橋随庵の碑」が今でも大切に残され、後世に伝えられています。